

虎ノ門ヒルズ

ファクトシート



■ 虎ノ門ヒルズ 施設概要	…1
■ オフィス（6～35階）	…2
■ 住宅「虎ノ門ヒルズレジデンス」（37～46階）	…3
■ ホテル「アンダース 東京」（47～52階）	…4
■ カンファレンス「虎ノ門ヒルズフォーラム」（4・5階）	…6
■ 商業施設（1～4階）	…7
■ 【安全】 事業継続性と「逃げ込める街」を実現する、高い耐震性能と防災機能	…11
■ 【環境】 生物多様性に配慮した緑と先進的な省エネルギー技術	…14
■ 【文化】 虎ノ門エリアのシンボルとなるパブリックアート	…16

■ 虎ノ門ヒルズ 施設概要

東京の新たなランドマークとなる超高層複合タワー

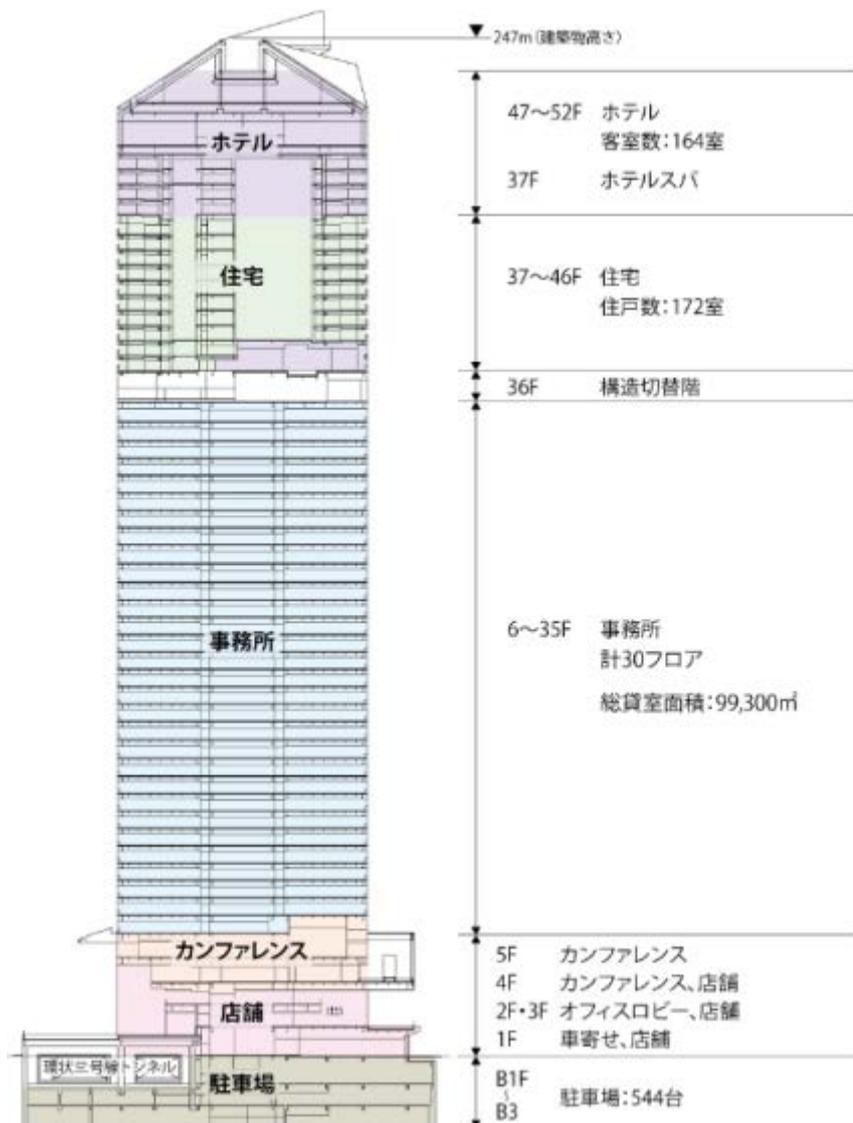
地上52階建て、高さ247mの超高層複合タワー「虎ノ門ヒルズ」は、東京都が外国企業誘致を推進する「アジアヘッドクォーター特区」に位置。ハイアットが運営し、日本初進出となるライフスタイルホテル「アンダーズ 東京」、最高スペックを備えたオフィス、眺望抜群でホテルサービスも利用できるハイクラス住宅、国際水準のカンファレンス施設、多様な都市活動を最大限サポートする商業施設、約6,000㎡のオープンスペース等で構成され、東京を代表する新たなランドマークとして、東京ならではの新しい魅力を日本そして世界に発信していきます。

【事業概要】

事業名称	環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市街地再開発事業Ⅲ街区
所在地	東京都港区虎ノ門一丁目23番1号～4号
敷地面積	17,069㎡
建築面積	9,391㎡
延床面積	244,360㎡
階数	地下5階、地上52階、塔屋1階
用途	事務所、住宅、ホテル、店舗、カンファレンス、駐車場
建物高さ	地上247m
構造	S造(一部SRC造、RC造)
事業施行者	東京都
特定建築者	森ビル株式会社
設計者	株式会社日本設計
工事施工者	株式会社大林組
着工	2011年4月1日
竣工	2014年5月29日
開業	2014年6月11日



地図



施設断面図

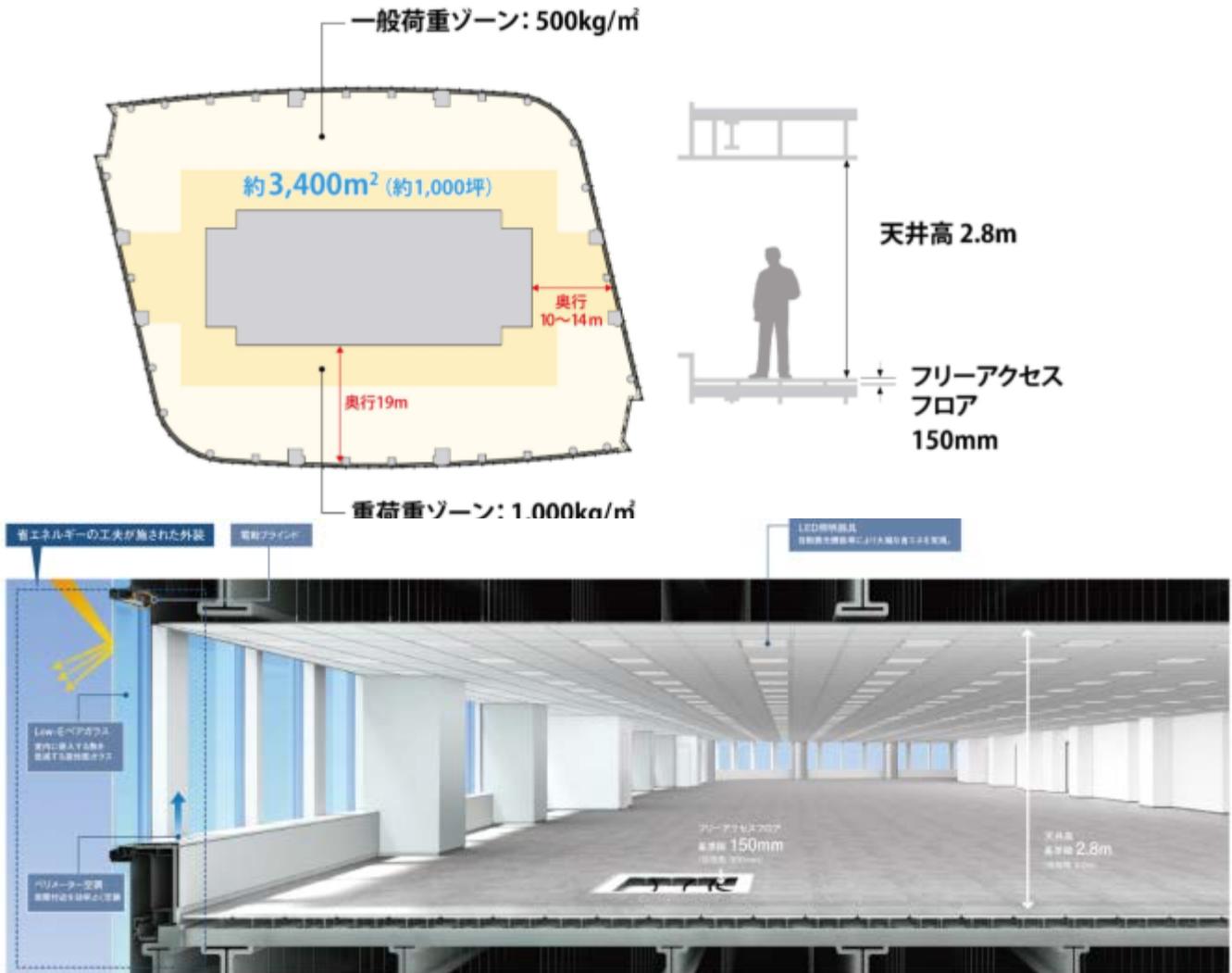
■ オフィス（6～35階）

企業の事業継続性にも配慮した、最高グレードのオフィス環境

6階から35階の30フロアを占める、総貸室面積30,000坪のオフィスです。基準階の貸室は、約1,000坪、天井高2.8mの無柱空間を実現したフレキシビリティの高い快適な執務空間です。

6駅11路線が利用可能な立地は、羽田空港にもアクセスが良く、グローバルなビジネス拠点として最適です。建物の共用部や外構にはWiFiを整備し、オフィスワーカーの豊かな働き方をサポートします。

3種類の制振装置による高い耐震性能に加え、非常時に専用部に対しても電源供給を可能とする非常用発電機を備えるなど、事業継続性(BCP)にも配慮。また、Low-Eペアガラスの採用や、専用部及び共用部へのLED照明の導入など、環境にも配慮し、環境性能評価「CASBEE」で最高ランク「S」を取得しています。



車寄せエントランスイメージ（1階）



オフィスエントランスロビーイメージ（2階）

■ 住宅「虎ノ門ヒルズレジデンス」(37~46階)

アンダーズ 東京と連携、新しい東京のライフスタイルを提案

37階から46階のフロアにある総戸数172戸の住宅からは、東京タワーやレインボーブリッジ、東京スカイツリー、皇居の緑など、東京都心の魅力的な眺望をお楽しみいただけます。

また、上層階のホテル「アンダーズ 東京」と同様に、エントランスやラウンジなど共用部のインテリアデザインを、ニューヨークを拠点に活動している世界的に有名なデザイナー トニー・チー氏が手掛けるほか、ルームサービスやランドリーサービスなどの様々なホテルサービスも利用することができます。

虎ノ門ヒルズレジデンスでは、森ビルが提案する、東京の新しいライフスタイル・ブランド「MORI LIVING」に「アンダーズ 東京」のサービスを組み合わせ、さらに進化したライフスタイルを提案いたします。

【住居】

44.80m²から最大239.83m²まで、1Bedroom~3Bedroom までの住戸プランをご用意。



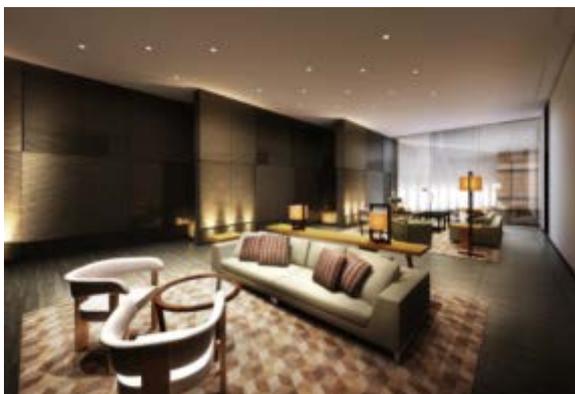
住居内イメージ



住居内イメージ

【レジデンスエントランスロビー(1階)】

デザイナーのトニー・チー氏が手掛けるロビーには、フロントスタッフが常駐します。



レジデンスエントランスロビー (1階)

【レジデンスラウンジ(37階)】

デザイナーのトニー・チー氏が手掛けるラウンジでは、東京のパノラマビューをお楽しみいただけます。



レジデンスラウンジ (37階)

■ ホテル「アンダーズ 東京」(47~52階)

都市の文化や個性を反映させる、日本初進出のライフスタイルホテル

ヒンディー語で“パーソナルスタイル(Personal Style)”を意味するアンダーズ(Andaz)は、地域の個性を大切に、その土地の魅力をデザインやサービスに取り入れているライフスタイルホテル。ニューヨークやロンドン、上海などの世界主要都市とリゾート地で展開しています。アンダーズ 東京では、ゲスト一人ひとりのライフスタイルに合わせ、日本らしさを大切にしながらも型にとらわれないサービスで、まるでご自宅にいるかのように心からリラックスした上質なお時間をお過ごしいただけます。インテリアデザインは、世界的に有名なホテル・レストランデザイナーのトニー・チー氏と、日本の文化や風習をはじめ和の神髄を知り尽くす緒方慎一郎氏とのコラボレーション。

【客室(47~50階)】

8室のスイートルームを含む164の客室。スタンダードルームでも50㎡ある客室からは、いずれの部屋からも東京の素晴らしい眺望をお楽しみ頂けます。広くゆとりのあるバスタブを備え、ミニバーのソフトドリンクやスナック、市内電話、WiFi接続は無料でお使い頂けます。



© tonychi and associates

【アンダーズ ラウンジ(51階)】

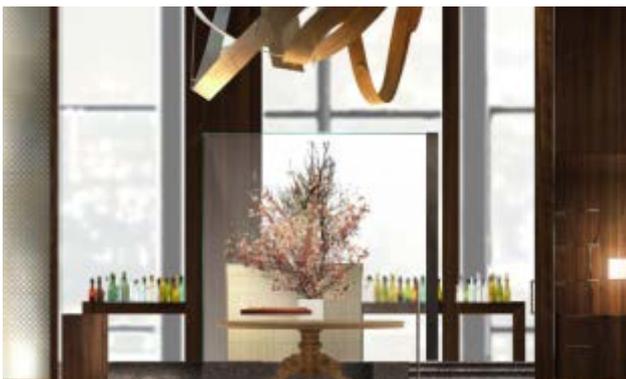
チェックインカウンターなどのバリアを取りのぞいたこの場所では「アンダーズ ホスト」がゲストの皆さまをお迎えます。チェックインは、ソファでドリンクを片手に、あるいはお急ぎのゲストの方は客室にご案内しながらなど、個々のスタイルに合わせて行います。



© tonychi and associates

【アンダーズ タヴァーン(51階)】

アンダーズのメインダイニング。新鮮な日本の食材を生かしたヨーロッパ料理を提供します。現代的で洗練されたインテリアが、料理の美味しさを一層引き立てます。大きなガラス窓からは、四季折々に移ろう美しい皇居やスカイツリーの景観を望むことができます。



© tonychi and associates

【ルーフトップバー(52階)】

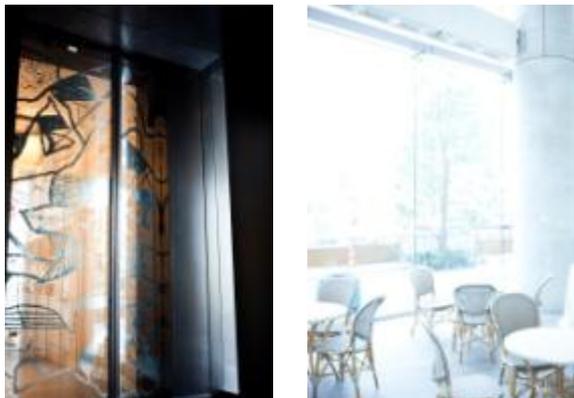
天高の異なる3つのエリアと、東京湾の圧倒的な景色とガラス屋根付きのオープンエアを楽しむことのできるバー。お茶や季節の果物を使ったカクテルをはじめ、お酒やシャンパンを愉しんで頂けます。



©SIMPLICITY CO., LTD.

【BeBu(1階)、パストリーショップ(1階)】

新虎通りに面した1階には、クラフトビールやハンバーガーを気軽に愉しめるカジュアルダイニング「BeBu(ビブ)」が誕生。「パストリーショップ」では、素材にこだわったスイーツやサンドイッチなどを取りそろえます。



【AO SPA AND CLUB(37階)】

熟練のセラピストによるパーソナライズされたケアを体験いただくためのトリートメントルームと、最新悦のマシンを備えたフィットネスセンター。20mプールからは皇居の素晴らしい緑を見渡すことができます。



【アンダーズ スタジオ(51階～52階)】

3つのユニークなイベントスペースと4つのミーティングルーム、いずれの会場からも東京の絶景がご覧いただけます。ゲストそれぞれの目的やスタイルに合わせた柔軟なご提案で、あらゆるシーンにお応えします。(イメージはTokyoスタジオ)



©SIMPLICITY CO., LTD.

【チャペル(52階)】

ホテルの最上階、東京で最も空に近い場所にある独立型チャペル。外観や内装、椅子に至るまで、すべて自然素材にこだわった空間は、厳かでありながらもあたたかな雰囲気にはまっています。



©SIMPLICITY CO., LTD.

■ カンファレンス施設「虎ノ門ヒルズフォーラム」(4・5階)

国際会議から展示会まで幅広く対応、エリア最大規模の“スマート・カンファレンスセンター”

貸室面積合計2,180㎡、新橋・虎ノ門エリア最大級となる当施設は、10年に亘る「六本木アカデミーヒルズ」での施設運営のノウハウを活かした、使いやすい機能性とホテルライクなホスピタリティーを兼ね備える“スマート・カンファレンスセンター”をキーワードに、今後開発が進む周辺エリアの“交流力”を高めるハブ施設を目指します。

3つのホールのほか、4つのミーティングルームと4つの控室を用意し、多様な会議やイベントへの幅広い対応力を備えた施設です。また会議参加者の快適性確保が、会議の生産性向上につながると考え、株式会社カシーナ・イクスシーと疲れにくい椅子を共同開発するなど、様々なファシリティの工夫も行っています。

運営面では、様々な会議やイベントでの豊富な知識と経験を持つスタッフがイベント・コーディネートを担当、お客様のご要望にお応えできるプランをご提案します。本番当日は、イベント毎に専任のスタッフがアテンド、チェックインからチェックアウトまでご一緒します。併せて、常駐するテクニカル・ディレクターが、技術面から、会議やイベントの成功のお手伝いをいたします。

【メインホール(5階)】

590㎡(2分割可)のスペースに、電動バトン・調整室や専用クロークを備え、抜群のイベント対応力とグレード感を併せ持ち、天井高7.2mを確保。360インチの大型スクリーンにも対応可能です。



【ホールA(5階)】

全長50mの広々とした窓から自然光が入り込み、明るく開放感のあるホール。757㎡(2～3分割可)の規模を活かした商品展示や商談会、パーティーに適しています。



【ホールB(4階)】

約360㎡の広々としたホワイトエを持つホール(2～4分割可)です。ロビーのゲートを閉じれば、お客様の貸切空間になります。



【ミーティングルーム(5階)】

「新虎通り」を望む、分科会や事務局部屋等に適した大きさのミーティングルームが4室あります。



■ 商業施設（1～4階）

虎ノ門エリアに集う全ての人々のコミュニケーションのハブとして

世界各国の多様な料理を展開するとともに、オフィスワーカーのサポート機能も提供

1階から4階までの商業エリアには、「Communication Hub（コミュニケーションハブ）」をコンセプトに、国内外のお客様のニーズに応える世界各国の料理を楽しめる飲食店舗や、オフィスワーカーをサポートするサービス店舗など、24店舗がオープンします（一部店舗は8月下旬オープン予定）。虎ノ門エリアのオフィスワーカーや、ホテル・カンファレンスのゲスト、近隣住民の方など様々な人々が集い、コミュニケーションが生まれる場所となります。

【1・2階】 商業施設初出店や新業態が揃う多彩な店舗構成

1階には、日本初のビストロ×カフェ×エピスリー（食物販）が融合した食の複合ショップが登場（8月下旬オープン予定）、新しいライフスタイルを提案します。2階には、オーナーシェフ渡邊明氏が提案する料理でお箸の楽しさを伝える新業態「above GRILL & BAR」をはじめ、商業施設初となる「TORANOMON KOFFEE」、神楽坂で人気のイタリアンの2号店「虎ノ門ARBOL」、エスニックなど、国際的なダイニングやカフェが並び、アトリウムに面する店舗では、隣接するガーデンに続く開放感あふれる空間で、四季を感じながら食事をお楽しみいただけます。



開放感あふれる3層吹き抜けのアトリウム



庭とアトリウムに面した「above GRILL & BAR」(2階)

【3階】 オフィスワーカーのサードプレイスゾーン

オフィスワーカーをサポートする機能を集積した「THE 3RD（ザ サード）」が誕生。古材を使ったインテリアで統一された約170坪のゾーンには、新業態のコンビニエンスストアとカフェが一体的に融合したサードプレイスカフェのほか、ヘアサロン、シューズリペア、フラワーショップなど、オフィスワーカーのワークスタイルを幅広くサポートする店舗が揃います。また、アルガンオイルを使用したNY発のオーガニック スキンケア ブランド「SULA NYC」の世界初となるデイ・スパ「SULA NYC TOKYO」や、外国人にも人気のドイツビアパブ、香港で人気のカフェ&レストランや和食バル、歯科が登場します。



オフィスワーカーのサポート機能を集積した「THE 3RD」



世界初となるデイ・スパ「SULA NYC TOKYO」

【4階】 個性溢れる食をフレキシブルに愉しめる、路面店スタイルのレストランフロア

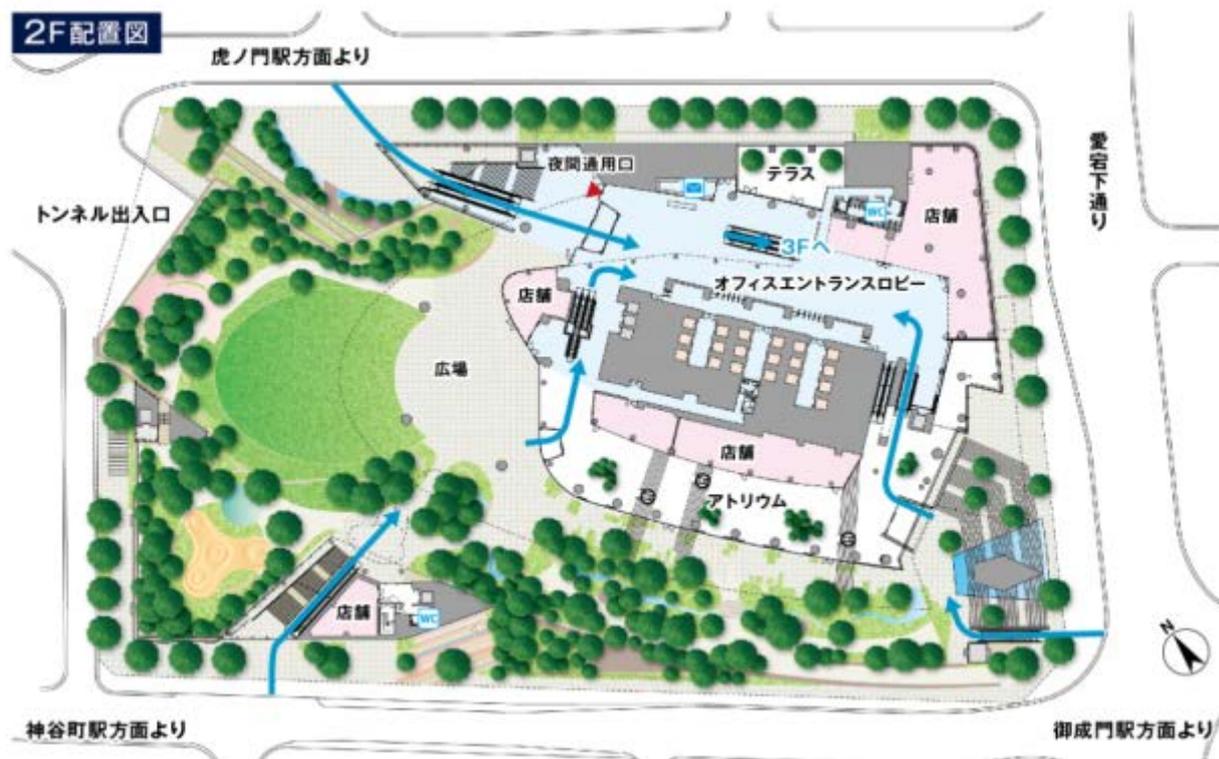
4階には、予約の取れない五反田の人気スペインバル「ジローナ」の2号店をはじめ、寿司、うどん、串揚げ、ステーキ、フレンチバルといった、バラエティ豊かなレストランがそれぞれの個性を活かした路面店スタイルにて展開します。その時の気分やシーンに応じてご利用頂ける、大人の食空間を提供します。



路面店スタイルの専門店を集積したレストランフロア



French cafe & wine 虎ノ門バル



■ 店舗一覧

No.	フロア	店舗名	運営会社	業態	コンセプト
1	1F	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日本初業態 商業施設初出店</div> Pirouette (ピルエット) <small>※8月下旬オープン予定</small>	(株)コントレイル	ピストロ×カフェ×エビスリー	毎日使えるカジュアルさと本当に良いものの提供をテーマに、ピストロ・カフェ・エビスリー(生鮮食物版)をひとつにまとめた今までにない食の複合ショップ。ピストロの厨房に沿った客席や、シェフと会話をしながら食材が買えるエビスリーなど、お客さまとスタッフとの近さも特徴。食育から本格料理までが学べる料理教室などイベントも随時開催します。
2		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">商業施設初出</div> TORANOMON KOFFEE (虎ノ門 コーヒー)	(株)国松商店	コーヒーショップ	表参道の古民家で展開する「OMOTESANDO KOFFEE」が商業施設初出店。「お客様のための1杯」を抽出するおもてなしをモットーに、バリスタがお客様とのコミュニケーションを通して、一人ひとりの好みに合わせてコーヒーを入れるスタイルと、ワーカーにクイックに提供するスタイルが両立したコーヒーショップです。
3		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新業態</div> ASIAN RESORT & COCKTAIL HOUSE GREEN RATTAN (アジアリゾート&カクテルハウス グリーンラタン)	(株)オペレーション ファクトリー	アジアリゾート&カクテルハウス	アジアリゾートを体感できる新しい形のカジュアルダイニング&スタンディングバー。世界中から集めた500種類以上のカクテルや欧州ワイナリー直輸入の厳選ワインが気軽に楽しみ頂けます。お食事は、スパイスやハーブで豊かな味を作り出す創作エスニック料理を堪能下さい。スターバーテンダーを招いたカクテルイベントも開催予定です。
4		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新業態</div> above GRILL & BAR (アバーヴ グリル&バー)	(株)イトウォーク	チョップスティックキュー イジュー	全国各地の生産者から直送される厳選した食材を使い、お家で楽しめるお料理をオーナーシェフ渡邊明が提案、提供いたします。朝時間を有効に活用するワーカー向けに朝食にも対応。朝食、ランチ、ディナーとどの時間でも違った顔を楽しめる、大人のHUBです。
5	2F	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">商業施設初出</div> 虎ノ門ARBOL (虎ノ門アルポール)	(株)エーディーエモーション	イタリアン	神楽坂で人気の一軒家のイタリアンが商業施設初出店。自家農園と産地直送の新鮮野菜、季節の野菜を練り込んだ自家製生パスタと地中海をイメージした魚料理、誰かの家に招かれた様な遊び心のあるイタリアンダイニングです。
6		虎ノ門ヒルズカフェ	森ビル(株)	カフェ/多目的スペース	芝生の広場に面した開放的な空間と、その日の気分にあわせて選べるデリススタイルが特徴。パーティーやプロモーションスペースとして、広場とあわせて活用いただくことも可能です。新しい虎ノ門の発信・コミュニケーション拠点となります。
7		MAISON KAYSER CAFE (メゾンカイザーカフェ)	(株)ブーランジェリー エリックカイザージャ ボン	ベーカリーカフェ	天然酵母を使い、低温でゆっくりと発酵させる伝統的な製法のパン作りで、パリを始めとし、ニューヨークや東京などで大人気のブーランジェ「Eric Kayser」がプロデュースするベーカリーカフェです。
8		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新業態</div> ファミマ!!	(株)ファミリーマート	コンビニエンスストア	ビジネスだけでなく、新鮮な情報やカルチャーなどの提供を通じて、オフィスワーカーの豊かなライフスタイルをサポートするニュータイプのコンビニ。雑貨と融合したテーマ別の書籍スペース、様々な専門店の商品を取り扱う「スタイルマーケット」、パーソナルスペースも完備したイトインコーナーなど、今までのコンビニにない楽しさを体感いただけます。
9		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新業態</div> THE 3RD CAFE by Standard Coffee (ザ サード カフェ バイ スタンダードコーヒー)	アールアンドケーフード サービス㈱	カフェ	NEW CLASSICSをコンセプトに、ハンドドリップコーヒーからワイン、毎日店舗で焼き上げるパンやフレッシュなサンドウィッチなどの多様なフード、色とりどりのペストリーメニューなど、虎ノ門ヒルズワーカーに上質な食生活を提供します。またミーティングや仕事もできるビジネスマンのサードプレイスとしてご利用いただけます。
10	3F	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">商業施設初出店</div> THE 3RD (ザ サード) TRES (トレス)	(株)tres	ヘアサロン	高度な技術を持ったスタイリストがカウンセリングから仕上げまでマンツーマンで対応するため、気持ちのよい時間を過ごして頂けます。サロン後もスタイリングし易い髪型を提供。似合う髪型が見つかります。ご婚約のヘアセットや産後のヘッドスパ・お時間を取らせないクイックメニューも承っております。
11		MISTER MINIT (ミスターミニット)	ミニット・アジア ・パシフィック(株)	シューズリペア	1957年ベルギーでの設立以来、多様化するお客様のニーズにお応えすることを最高のサービスとして提供してきたミスターミニット。ここでは、これまでにない空間の中で、業界ナンバーワンのネットワーク、高い技術力でお客様の大切な靴やバッグ修理、ハイクラスのシューシャイン、合縁作製を承ります。
12		les mille feuilles de liberté (レ ミルフォイエユ ドウ リベルテ)	(株)リベルテ	フラワーショップ	花の持つ自由な動きを活かし「家の庭から摘み取ってきた」ようなナチュラルな欠片でお客様の心を共に束ねます。“Maison”と“Art de Vivre”をテーマとした、花の香りに満ちた落ち着いた雰囲気店内。華やかなシーンを彩るアレンジメント、インテリアグリーン、直輸入のフラワー雑貨をご用意しています。

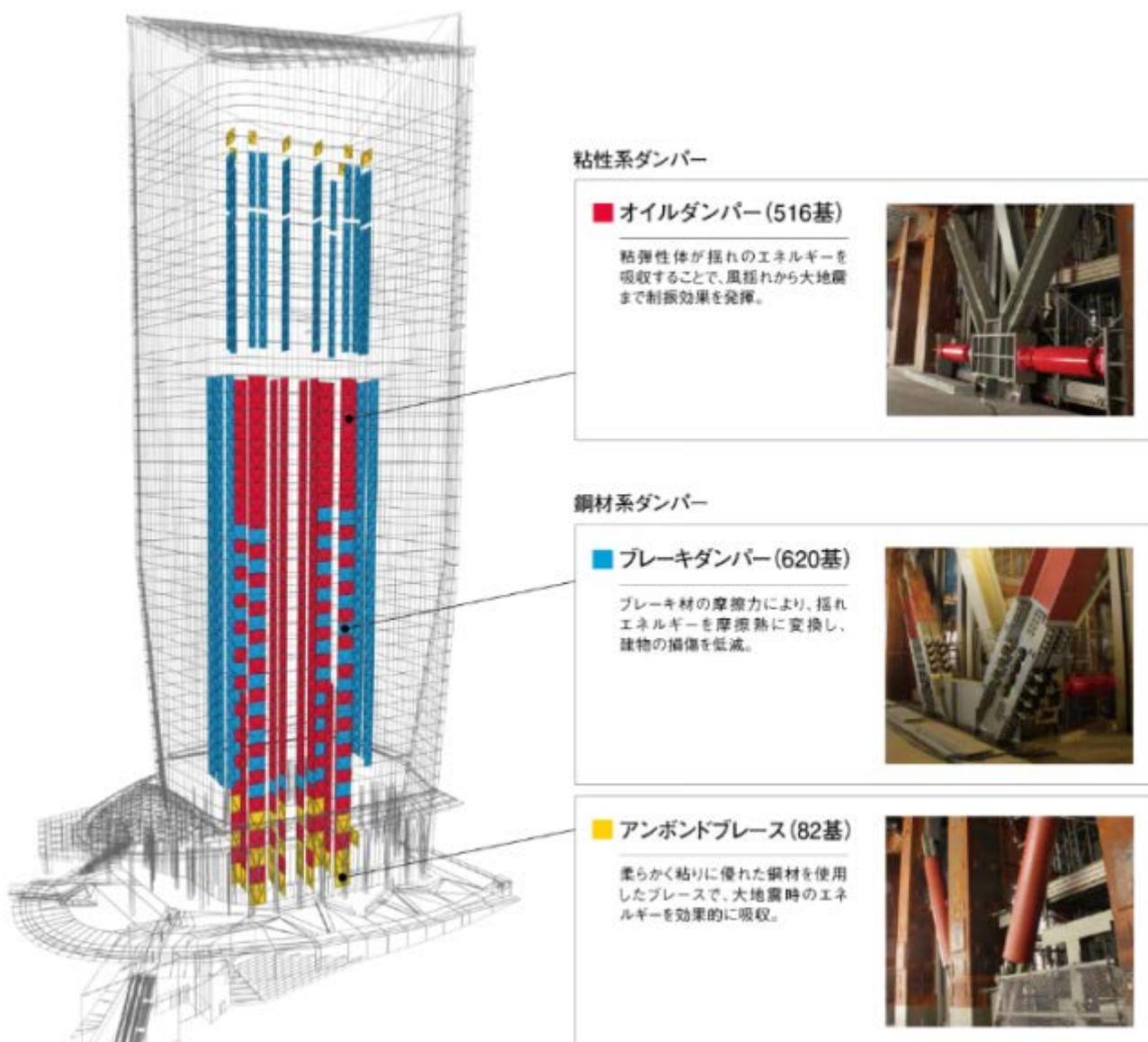
No.	フロア	店舗名	運営会社	業態	コンセプト
13	3F	世界初業態 商業施設初出店 SULA NYC TOKYO (スーラ NYC トーキョー)	(株)スーラNYCジャパン	デイ・スパ	ニューヨークで人気のSULA NYCは、モロッコ産のオーガニック・アルガンオイルと、南米スリナム産の天然素材などをミックスさせた、自然由来成分にこだわったスキンケア商品です。このSULA NYCのラインナップを使用したオリジナルメソッドによるトリートメントで、皆さまに癒しの空間・時間をご提供致します。
14		虎ノ門ヒルズおおかわら 歯科医院	大河原 正哉 (個人)	歯科	清潔な診察室、清潔な器具でクリーンな院内環境をつくり、患者様に安心して治療を受けて頂きます。どうぞ皆様、お気軽におおかわら歯科医院にご来院下さい。スタッフ一同よりお待ちしております。
15		和食バル 音音	(株)ラムラ	和食	野菜・魚介・肉・米など、全国からの厳選食材を産地直送。健康・ヘルシー・素材のこだわり・食文化四季の素材そのもののうまみを最大限引き出します。国産ワインと全国の日本酒にこだわり旨いものみを厳選し品揃え、お酒に合せた料理も数多く取り揃えております。
16		糖朝	(株)アール・ティー・ コーポレーション	香港カフェ&レストラン	香港で人気のカフェ&レストラン「糖朝」。医食同源の思想を大切に、体にいいもの・美味しいこと・見た目の美しさにこだわった料理を提供しております。ランチ・カフェ・ディナーとあらゆるシーンでご利用頂けます。
17		商業施設初出 Toranomom HOP (虎ノ門 ホップ)	ディプロマットダイニング (株)	ビアバブ	日本に居ながら常時10種類以上の本場ドイツビールをアットホームな雰囲気の中で楽しんで頂けるビアレストランです。会社帰りにちょっと一杯、ご家族でランチ、お友達のお誕生日会や歓迎会など様々なシーンでご利用いただけます。何度来ても「飽きない」美味しいビール、お料理をご用意しております。
18		虎ノ門ヒルズトルナーレ 歯科・矯正歯科臨習院	医療法人社団RMDCC	歯科・矯正歯科・歯科 口腔外科・小児歯科	世界基準の歯科診療と、最高の設備をご用意し、目立たないマウスピースを使った矯正・インビザラインはもちろん、保険診療から自費診療まで最新の技術を提供します。インビザライン、ジルコニア、ホワイトニング、インプラント、ノンクラスプデンチャー、顎関節症、親不知抜歯など、歯科診療は全て対応いたします。
19		商業施設初出 スペインバル ジローナ	(株)ブランB	スペインバル	五反田で予約のとれない人気のスペインバルが商業施設初出店。デイリーで気軽にワインと本格スペイン料理をお楽しみいただけます。新鮮な食材の仕入れ状況に応じておすすめのメニューを提供します。
20		商業施設初出 意気な寿司処阿部	(有)寿し処阿部	寿司	全国5ヶ所の産地から直送される新鮮な寿司とともに、店主の生まれ育った南魚沼の米や野菜、山菜をお楽しみいただけます。
21	4F	創作うどんとおでん あんぶく	(株)ジャパンソウル フード	創作うどんとおでん	女性が一人で行けるうどん店をコンセプトとした、和洋中を織り交ぜたバリエーション豊かな創作うどんのお店。夜はお出汁のきいた素材を感じるおでんとともに、一品料理もご用意いたします。その季節にしか味わえない日本酒も一緒にどうぞ。
22		串あげもの 旬s	(株)雲仙	串揚げ料理	旬のお野菜、魚介、お肉など、吟味された素材を使ったオリジナリティあふれる串あげもの。衣の中にどんな食材が隠れているか、ちょっとした驚きも串揚げの楽しみの一つ。ゆったりとしたモダンな空間で旬のおいしさをお楽しみください。
23		熟成肉専門 但馬屋	(株)牛心	ステーキ	大阪で人気の「但馬屋」が関東初出店。熟成神戸牛、長期肥育超熟成プレミアム黒毛和牛を最高の焼き方B&B(ブラック&ブルー；外はこんがりサクサク、内はジューシー)で提供いたします。自然と笑顔がこぼれる美味しさです。
24		新業態 商業施設初出店 French cafe & wine 虎ノ門パール (フレンチカフェ&ワイン 虎ノ門パール)	(株)FSプランニング	フレンチ カフェ&ワイン	美味しいものをごろな価格で、気軽に楽しめるフレンチパール。元高級フレンチの総料理長が腕を振るう「ガルニチュール」(付け合わせ)を、豊富なラインナップのワインともにご用意いたします。ランチタイムにはフレンチのお店ではVIP向けの裏メニューだった「フレンチカレー」を厳選された沢山の野菜とともに 味わえます。

■【安全】事業継続性と「逃げ込める街」を実現する、高い耐震性能と防災機能

事業継続性を確保する3種類、1,218基の制震装置

ブレーキダンパー(620基)、オイルダンパー(516基)、アンボンドブレース(82基)の3種類の制振装置、合計1,218基を各階にバランス良く設置。阪神大震災や東日本大震災クラスの極めてまれに起きる大地震が発生しても構造に大きな損傷を与えず、事業継続を実現する高い耐震性能を有します。さらに、柱の鋼管内にコンクリートを充填するCFT(Concrete Filled Tube)柱を採用することで建物の地震に対する「ねばり」が向上し、スレンダーな柱で耐震性能、耐火性能に優れた構造を実現しています。

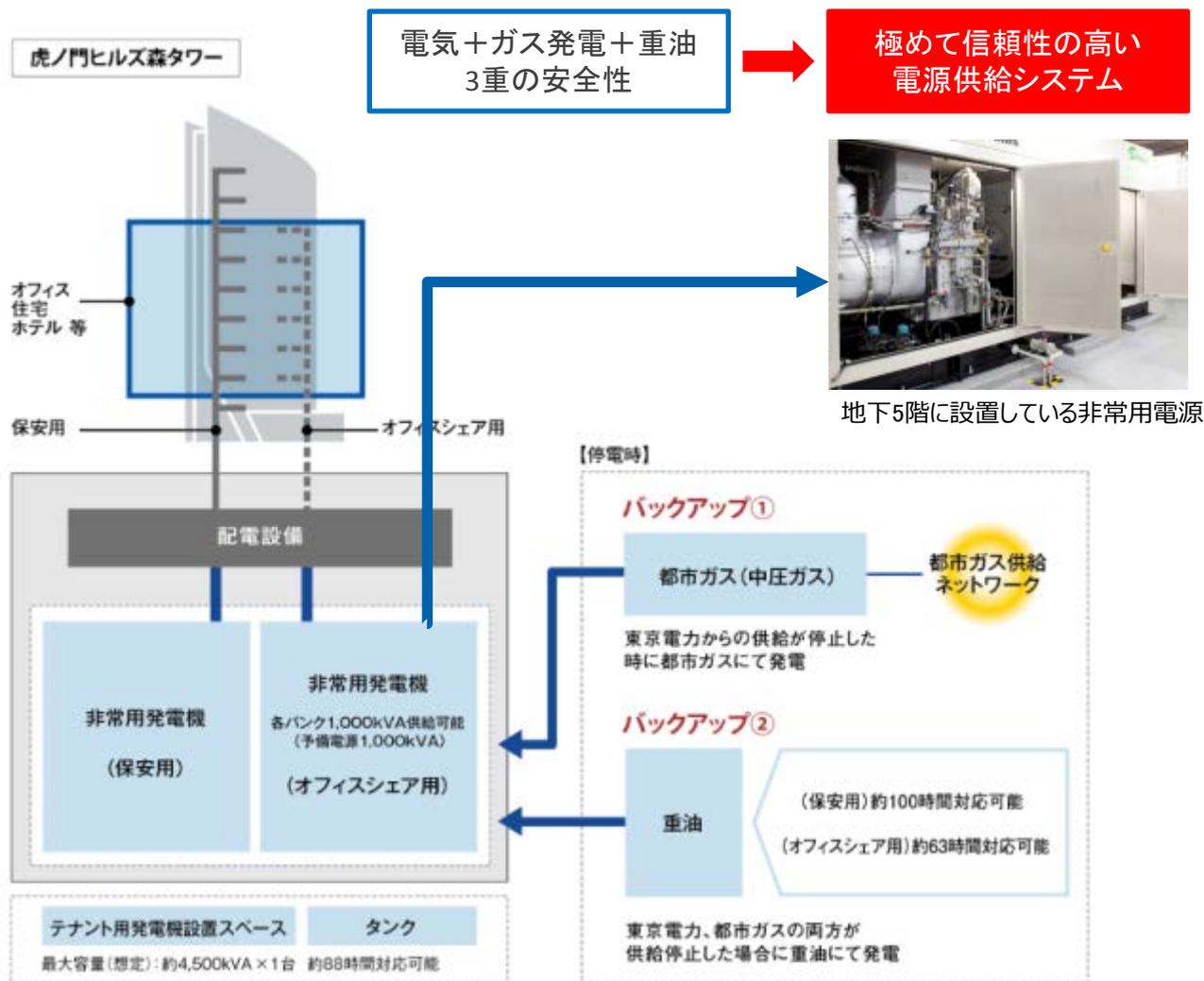
耐震性能グレード(日本建築構造技術者協会規定)において、大地震で構造体が軽微・無被害である「特級」を確保しています。



事業継続実現を可能にする非常用発電機を設置

虎ノ門ヒルズでは、通常の東京電力からの受電に加え、バックアップとしてガスと重油による発電設備を用意し、極めて信頼性の高い電源供給システムを備えています。

東京電力からの受電が何らかの事故で供給されなくなった場合を想定し、保安用とオフィスシェア用(オプション)の2種のデュアル燃料型ガスタービン発電機を非常用電源として設置しています。これにより主燃料の都市ガス(中圧ガス)にて連続15日間の給電が可能です。万が一、東京電力、都市ガス双方の供給が停止した場合でも、貯蔵の重油にて、保安用は連続100時間、オフィスシェア用は連続63時間の給電を可能にします。さらに、入居テナントが独自に設置、使用できる発電機設置スペースも用意し、各社が独自に持つBCPガイドラインにも対応。磐石の電源体制が、円滑な事業継続をサポートします。また、太陽光発電装置も設置し、自然エネルギーも活用しています。



テナントのBCP及び安全安心に寄与する、独自の地震直後建物被災度推測システムを導入

独自の地震直後建物被災度推測システム「e-Daps」を設置。建物の数フロアごとに設置している「地震計計測データ」と「建物固有の構造特性」を基に、フロア毎の「揺れの加速度」と「建物変形」をリアルタイムに自動解析、建物構造の被災状況を即座に一次判定することができます。目視判断が難しい構造の安全性に対し、実測データに基づいた根拠ある判断が可能となり、優先順位をつけた初動対応を実現します。

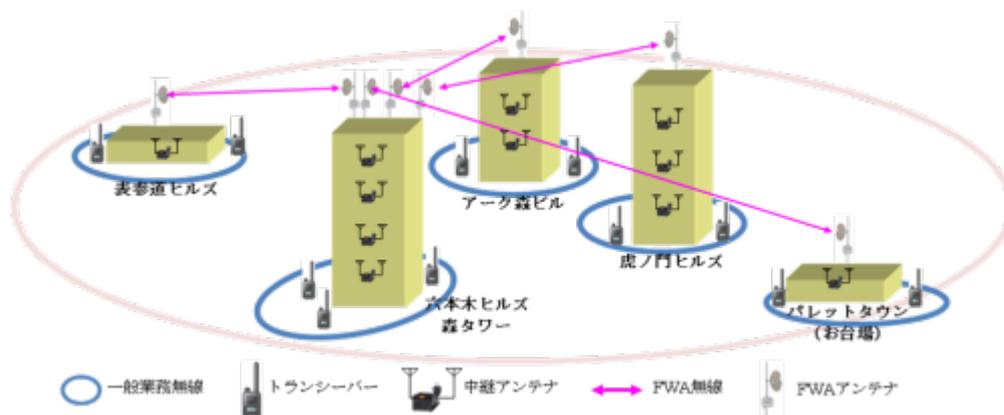
地域の防災拠点として、数千人の帰宅困難者受け入れが可能な「逃げ込める街」へ

国内最高グレードの耐震・耐火性能を備えた虎ノ門ヒルズは、非常時に約3,600人規模(想定)の帰宅困難者の一時滞在スペースとして活用できるよう、低層部のカンファレンスやアトリウム、ロビー等を整備し、地域全体の防災機能の向上に貢献します。また、照明や衛生、通信機能など、帰宅困難者が滞在するために必要となる箇所へ非常用電源を供給します。さらに、震災井戸、備蓄倉庫の設置や、水や備蓄食糧、災害時に必要となる資機材等の備蓄を行います。これにより「逃げ出す街」から「逃げ込める街」へと街の機能を深化させ、災害時には街全体が防災シェルターの役割を担います。



災害時の手段として、一般業務無線とFWA無線(Fixed Wireless Access)を併用した独自システムを構築

災害時における通信手段の多重化を目的に、一般業務用無線免許を総務省関東総合通信局より取得し、無線を活用した独自のデジタル無線システムを構築。災害対応拠点となる防災センターと、施設内各所で対応にあたるスタッフ間の通信手段として機能させ、来館者や帰宅困難者の的確な誘導など、各種対応に活用します。また、建物内に複数の中継アンテナを新設し、それらをネットワーク(LAN)と接続することで、中継アンテナを介して各トランシーバー間で同報発信できるよう整備したことも大きな特徴です。さらに、震災対策本部が設置される六本木ヒルズ森タワーと各施設は、一般業務無線と合わせ新たに免許取得したFWA無線(Fixed Wireless Access)で接続。本部と各ビルの情報伝達に活用するほか、トランシーバーを所有し活動にあたる全スタッフと一斉に交信することも可能です。



■【環境】生物多様性に配慮した緑と先進的な省エネルギー技術

敷地面積17,000m²、6,000m²の生物多様性に配慮した緑あふれるオープンスペースを確保

立体道路制度を活用して生まれた人工地盤上には、約6,000m²のオープンスペースが広がります。都心のオアシスとして機能する広大な芝生広場をはじめ、心地よい小川のせせらぎ、季節の風情を楽しめる緑が随所に施されます。さらに、環状第2号線地上部道路とつながることで、人が集まり憩うことができる豊かな都市空間を形成します。また、公益財団法人日本生態系協会によるJHEP認証^{※1}で最高ランク「AAA」を取得しています。

※1 JHEP(Japan Habitat Evaluation and Certification Program／ハビタット評価認証)：生物多様性の保全や回復への取組みを定量的に評価・認証する制度。



東京の環境軸「グリーンロード・ネットワーク^{※2}」の基点

環状第2号線は、海からの風を都心に呼び込み、緑豊かな都市環境を実現する、東京都が定める環境軸(東西の環境軸)の一つに指定されています。また、皇居から日比谷公園、愛宕山、芝公園は南北にグリーンベルト(南北の環境軸)を形成しています。虎ノ門ヒルズは、その交点という立地を生かし、敷地内に生物多様性にも配慮した緑豊かな6,000m²のオープンスペースをつくり、これを「グリーンロード・ネットワーク」の基点として、隣接街区を含めた一体的なまちづくりをめざします。

※2 グリーンロード・ネットワーク：東京都が進める、水と緑の回廊で包まれた美しいまち東京の復活を目指して、都内の街路樹を100万本に倍増し、都立公園などの「緑の拠点」を街路樹でつなぐプロジェクト。



国土交通省「省CO2先導事業」に認定された、省エネルギー・省資源への積極的な取り組み

虎ノ門ヒルズは、自然エネルギーの活用や、照明、空調システムなどにおいて、省エネルギー・省資源の取り組みを積極的に行っています。LED照明、超高効率熱源システムなどの導入により建物の省エネルギー性を高めるのみならず、クラウド型コンピューティングサービスを用いて周辺街区に省CO2対策を促す取り組みを計画しています。地域全体の省CO2を実現しようとする試みに先導性があるとして、他の大型プロジェクトの波及につながる点が評価され、平成22年度「省CO2先導事業」に認定されました。

【エネルギー使用量の把握】

虎ノ門ヒルズでは、建物のエネルギー使用状況や、室内でのエネルギー使用量をリアルタイムに把握し、データを蓄積・分析することができるエネルギーウェブシステムを導入。エネルギーの使い過ぎや無駄をなくします。

【省エネルギー空調システム】

日本一の深さがある大規模な蓄熱槽と高効率設備を導入し、高い環境性能をもつ空調システムを実現します。夜間の割安な電力を利用して冷房用の冷水と暖房用の温水を蓄熱槽に蓄え、昼間の空調に利用。また冷房時に発生する排熱で暖房用の温水を同時に製造したり、冷水・温水を製造する際、冷水は13℃（従来は6℃）・温水は38℃（従来は45℃）に、温度レベルを緩和することで、エネルギー効率をさらに高める工夫をしています。

【太陽光発電装置】

未利用・自然エネルギーを有効利用するために、大庇の上に太陽光発電装置を設置しています。

【Low-Eペアガラス】

虎ノ門ヒルズの窓には、熱線を遮へいするLow-Eペアガラスを導入。窓際の日の当たる場所でも、より快適に過ごせる仕様になっています。また外壁には庇やフィンを併用し、窓際の温熱環境を改善させ、空調ロス小さく抑える工夫をしています。

【水資源の有効利用】

近年の気候の変化で度々問題となっている水不足。虎ノ門ヒルズでは、敷地内から集めた雨水を貯留し、ろ過した後、トイレ洗浄水として再利用。水資源も循環利用し、無駄をなくします。



エネルギー使用量を可視化



地下にある大規模な蓄熱層



太陽光パネル

■【文化】虎ノ門エリアのシンボルとなるパブリックアート

カルチャー発信地としての役割も担う、パブリックアート

虎ノ門ヒルズ内には、森美術館監修によるパブリックアートを設置します。グローバルハブを目指す虎ノ門ヒルズは、カルチャー発信地としての役割も担っていきます。未来の東京に想いを馳せて完成させた、アジアのアーティストの作品を中心に設置しています。

■2階 オフィスエントランスロビー

ジャン・ワン(Zhan Wang) 《Universe 29》

2014年 6.6x2.8m ステンレススチール

大きな岩を約20mの高さから落とし、床に砕け散った423個の岩をステンレススチールで模り表面を鏡面状に磨き上げ、砕け散った時の爆発のエネルギーを感じさせる本作品は、虎ノ門ヒルズがこれから生み出すエネルギーを連想させる。



ジャン・ワン(Zhan Wang)

1962年北京生まれ、同在住。中国を代表する現代アーティスト。国際的に活躍し、中国のみならず、広州ビエンナーレ(2002年)やヴェネチア・ビエンナーレ(2003年)などの重要な展覧会にも参加。森美術館で開催された「秘すれば花展」(2004年)にも出展。また、エベレストや万里の長城(中国)など屋外でのプロジェクトも手掛ける。現在中央美術学院(北京)教授。

■2・3階 オフィスロビー エレベーターホール前

サン・クワック

《Untying Space_Toranomon Hills Mori Tower》

2014年 827 x 350cm、855 x 350cm、827 x 350cm (2F) 827 x 330cm、855 x 330cm、827 x 330cm (3F) 高透過ガラス、ペイント、フィルム

エレベーターホール前のガラス壁面と天井にダイナミックに流れる模様は空間を静から動に変え、さまざまな人、アイデア、エネルギーの流れをも連想させる。本作品がクワックの日本での初公開の作品である。

サン・クワック

1966年韓国生まれ、ニューヨーク在住。ニューヨーク大学大学院卒業。「Enfolding 280 Hours」(2009年、ブルックリン美術館)などの個展をはじめ、広州ビエンナーレ(2006年)、「Phantoms of Asia: Contemporary Awakens the Past」(2009年、アジア美術館・サンフランシスコ)などのグループ展に参加。サムスン・ライフ・ビル(ソウル、韓国)やThe James Hotel(ニューヨーク)などの恒久設置作品も手掛ける。

■1階 車寄せ

内海聖史 《あたらしい水》

2014年 663 x 265, 640 x 265, 425 x 265, 490 x 265, 509 x 265 cm 油彩、キャンバス

壁面長さの合計が約27m、5分割された巨大な油彩画には、変化する緑色をベースに様々な色彩がその上を水のように流れ、日本の四季を感じさせる。



内海聖史

1977年茨城県生まれ、同在住。2002年多摩美術大学大学院美術研究科修了。「色彩に入る」(2007年 資生堂ギャラリー、shisedo art egg)などの個展をはじめ、「第6回岡本太郎記念現代芸術大賞展」(2003年)、「MOTアニュアル2004」(2004年東京都現代美術館)、「VOCA展」(2005年上野の森美術館)など重要なグループ展に参加。パレスホテル東京、足利赤十字病院、深川ギャザリアなど多様な公共空間に作品が展示されている。

■2階・3階 オフィスエレベーターホール

神谷徹《emerald, fire opal, garnet, pearl, peridot, sapphire》

2014年 各126 x 200cm アクリル、キャンバス

6枚のアクリル画は、それぞれ宝石の色をイメージに彩色されている。これらは、虎ノ門ヒルズの随所に使用されている色から着想を得たもので、これからこの場所が紡ぐさまざまな「いろ」や「光」を象徴している。

神谷 徹

1969年愛知県生まれ、京都在住。1994年東京藝術大学油画科大学院卒業後、アイルランド政府奨学生とアーティストインレジデンスのため、ダブリンへ2度滞在。ギャラリーでの個展開催や美術館展覧会への参加多数、府中市美術館に作品が収蔵されている。また、オフィスビルや大学、駅への作品設置、ミュージシャンとのコラボレーションなど活動の場は幅広い。現在、京都造形芸術大学准教授。

■1階 レジデンスロビー

安田 悠《orbital resonance》

2014年 200 x 200cm 油彩、キャンバス

「水の漂いを軸に遠景と近景が不思議な距離感で存在し共鳴し合うようにイメージ」された作品(作家コメント)。流れる水の情景を積み重なり合わせた風景画。

安田 悠

1982年香川県生まれ、東京在住。人気の若手画家。2007年武蔵野美術大学大学院造形研究美術専攻油絵コース終了。「ART AWARD TOKYO」(2007年)、「TOKYO WONDER WALL」(2007年入賞)、「VOCA展」(2008年 上野の森美術館)などに早くから参加。トヨタ自動車、横浜美術館、高橋コレクション、宮津大輔コレクションに所蔵される。

■37階 レジデンス・共有部

松本陽子《夜明けの少し前》

2006年 200 x 200cm 油彩、キャンバス

ピンクのシリーズの絵画で知られる松本だが、本作品は2005年から始めた緑の絵画シリーズの初期のころの代表作。緑と黒色が幾度も重なりながらも白色の線が少し隅に描かれ、題名を想起させる。

松本陽子

1936年東京都生まれ、同在住。現代日本を代表する画家。1960年東京藝術大学美術学部油画科卒業。在学中より抽象絵画を制作。国内外で個展を開催、グループ展へも多数参加。近年では2009年「光 松本陽子／野口里佳」展(国立新美術館)において新旧作品約50点を展覧。東京国立近代美術館、東京都現代美術館、神奈川県立近代美術館をはじめ日本の主要美術館に作品が所蔵されるとともに、ホテル・オークラの壁画なども手掛けてきた。



《emerald》



《garnet》

